

上高田小学校・新井小学校統合委員会 要 点 記 録

第 4 回

開 催 日 時	平成 29 年 12 月 1 1 日(月) 午後 6 時 30 分～7 時 30 分	
開 催 場 所	新井小学校 図書室	
出席者	委 員	関田光延、川野辺次男、樋口勇、渡邊由紀子、磯貝依史真、須田麗和、齋藤竜、小野寺麗、井上政行、小野武、濱本敏典、大杉俊男、須藤江理、小池隆一、杉渕尚、幅健司、谷岡省三、板垣淑子、石原千鶴 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当、子ども教育施設担当
	その他	株式会社 東畑建築事務所
会 議 次 第	【議事】 1 統合新校の新校舎の基本構想・基本計画について 2 その他	

第 4 回 上高田小学校・新井小学校統合委員会 会 議 要 旨

1 開 会

委員長

定刻となったため、これより第4回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。
 本日は、議事「統合新校の新校舎の基本構想・基本計画について」の説明のため、子ども教育施設担当と、基本構想・基本計画の策定を支援いただく設計会社、株式会社東畑建築事務所（以下東畑建築事務所）の方が出席している。

2 議 事

議事（1）統合新校の新校舎の基本構想・基本計画について

委員長

では、議事（1）統合新校の新校舎の基本構想・基本計画に入る。東畑建築事務所より説明を求める。

■資料「全体施設計画」を東畑建築事務所より説明

全体施設計画

1 前回（11月8日）の学校統合委員会で頂いたご意見 及び 現時点での設計方針

- （1）児童用の通用門を、スペースが確保できる南東に設置するのはいかがか。
⇒ 現新井小学校の周囲の道路状況や、通学区域等を踏まえ、南東を正門とする案を計画中です。（イメージ①②共）
- （2）新井小学校の敷地と周辺道路とは高低差が大きい箇所があるので入り口等考慮してほしい。
⇒ 学校敷地への入口は、高低差が無い中野通り側とする計画を基本としています。（イメージ①②共）
- （3）新校舎については児童とその他（地域開放型学校図書館、キッズ・プラザ、屋内運動場開放）との動線分離に配慮し、セキュリティを確保してほしい。
⇒ 動線が交錯しないように計画中です。（イメージ①②共）
- （4）中野通り沿いの児童用の通用門について、中野通りは西武線の踏切から新井小学校方面が下り坂となり、加速した自転車が通過して危険なため、安全に配慮した計画としてほしい。
⇒ 中野通り沿いの学校敷地については、現在の境界線の位置よりも学校敷地側に後退することにより歩道を広げ、フェンス等を設けることにより児童の安全に配慮できる様に計画中です。（イメージ①②共）
- （5）将来的に西武線は地下化されるため、それを考慮した学校づくりをしてほしい。
⇒ 校庭と線路跡地（将来活用未定）のつながりを意識できるような配置・建物とできる様に計画中です。（イメージ①②共）
- （6）統合したことにより、生徒だけでなく、保護者の数も増えるため、運動会等における保護者の観覧スペースの確保にも考慮してほしい。
⇒ 校舎から観覧ができるように2階に屋外デッキを計画中です。（イメージ①②共）
- （7）アンケート結果で、「プールは落ち葉が多く汚い」という意見が多かったので、そのような点も配慮のうえプールを設置してほしい。
⇒ 落ち葉が溜まり難い、屋上にプールを設置する計画としています。（イメージ①②共）
- （8）プールの位置について、苦情の可能性があるので、近隣の住宅（西・北西・北東）から離れた位置の検討もしてほしい。
⇒ イメージ①では諸条件上、西側敷地境界線に面する様に屋上プールを配置せざるをえないのですが、イメージ②では中野通り側の屋上プール側に計画中です。
- （9）屋上のプールの水を防災に利用するにあたり、専用の配管を整備してほしい。
⇒ 整備する方向で計画中です。（イメージ①②共）
- （10）イメージ②において、キッズ・プラザを北西側（妙正寺川側）に配置することも可能かと思うので検討してほしい。
⇒ 北西側（妙正寺川側）は夜間暗く、道路幅も狭い為、放課後の周囲が暗くなる時間まで児童を預かる施設の配置としては、より明るさや道路幅が広い中野通り側位置の方がより相応しいと判断しました。

2 前々回（10月6日）の学校統合委員会で頂いたご意見及び 現時点での設計方針

（11）校庭の大きさを考えたら、中野通り沿いなどに高い校舎を建てた方が効率的のように感じる。

⇒ 中野通り沿いは規制上高層化は可能ですが、小学校として1階に配置が必要な諸室が決まっております。高層化により校庭面積が大きくなるものではありません。

（12）新井小学校は妙正寺川が近くにあり、浸水の危険性もあるため、1階に電気設備を置かない方が良いのではないかと。

⇒ 主要な電気設備は屋上に配置する計画としています。（イメージ①②共）

（13）新校舎には上高田小学校と新井小学校の記念品等を飾るメモリアルスペースを設置してほしい。

⇒ 設置できるよう計画します。（イメージ①②共）

（14）新井小の土地は地盤が弱い土地と聞いているので、災害対策の観点からも配慮のうえ、学校づくりを進めてほしい。

⇒ 災害に強い構造計画とします。（イメージ①②共）

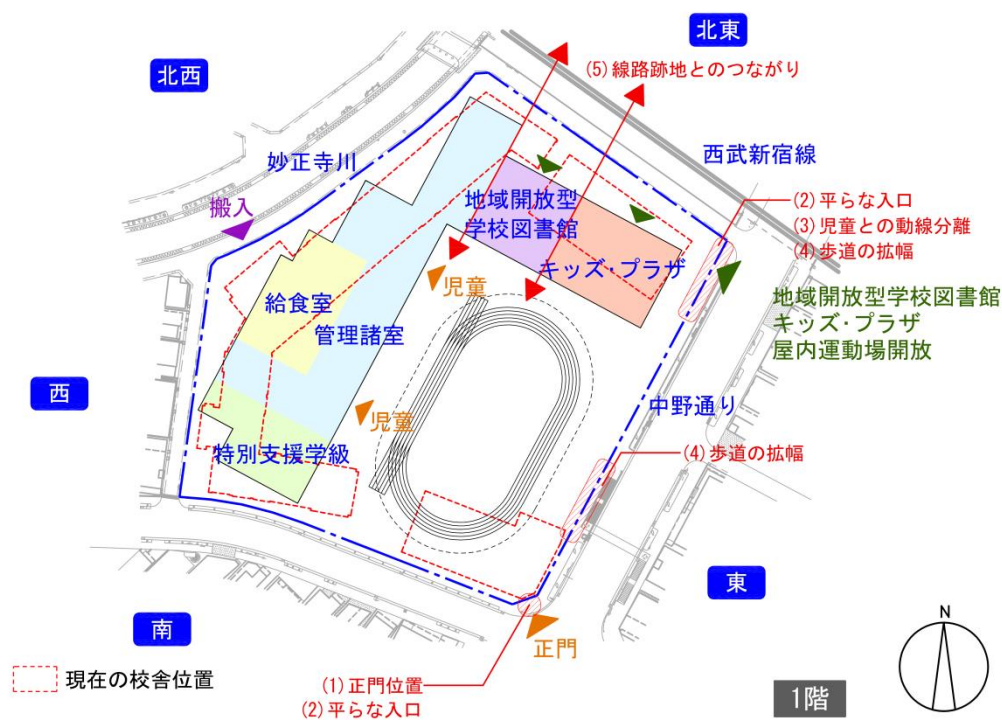
（15）一足制を導入する学校とそうでない学校で教育活動に差が生じてしまうのではないかと。

⇒ 校庭の材質、併設施設の有無といった学校ごとの状況を踏まえ、各校に適した教育環境を整備していきます。

（16）一足制を導入すると、上足・下足の履き替えという日本の文化が薄れてしまう可能性があるため、学校・保護者等に理解を得られるような設計をしてほしい。

⇒ 一足制による新校舎を整備していくにあたっては、他区の導入校も参考にするなど、より良い教育環境の整備に向け、引き続き検討を重ねていきます。

3-1 建物配置 イメージ①



■建物配置特徴 ※前回（第3回統合委員会資料）記載に同じ

【校舎・校庭】

- ・北側・西側に校舎を配置。（普通教室を東向きに配置。）
- ・南東側に校庭を配置。（現在の新井小学校と同等規模以上を確保。）

【地域開放施設（キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館、屋内運動場）】

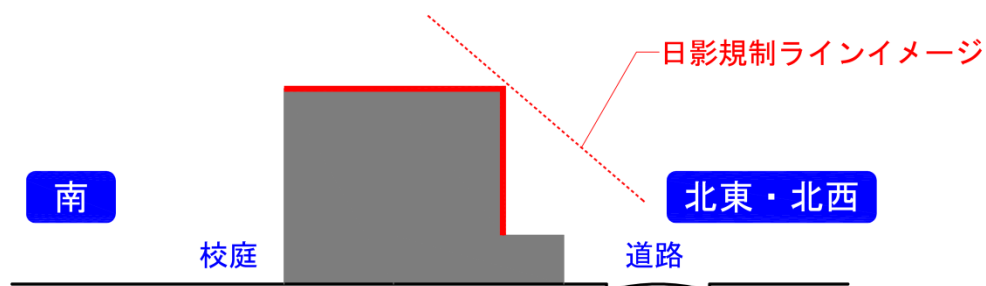
- ・北東側の区道に面して配置。

【メリット】

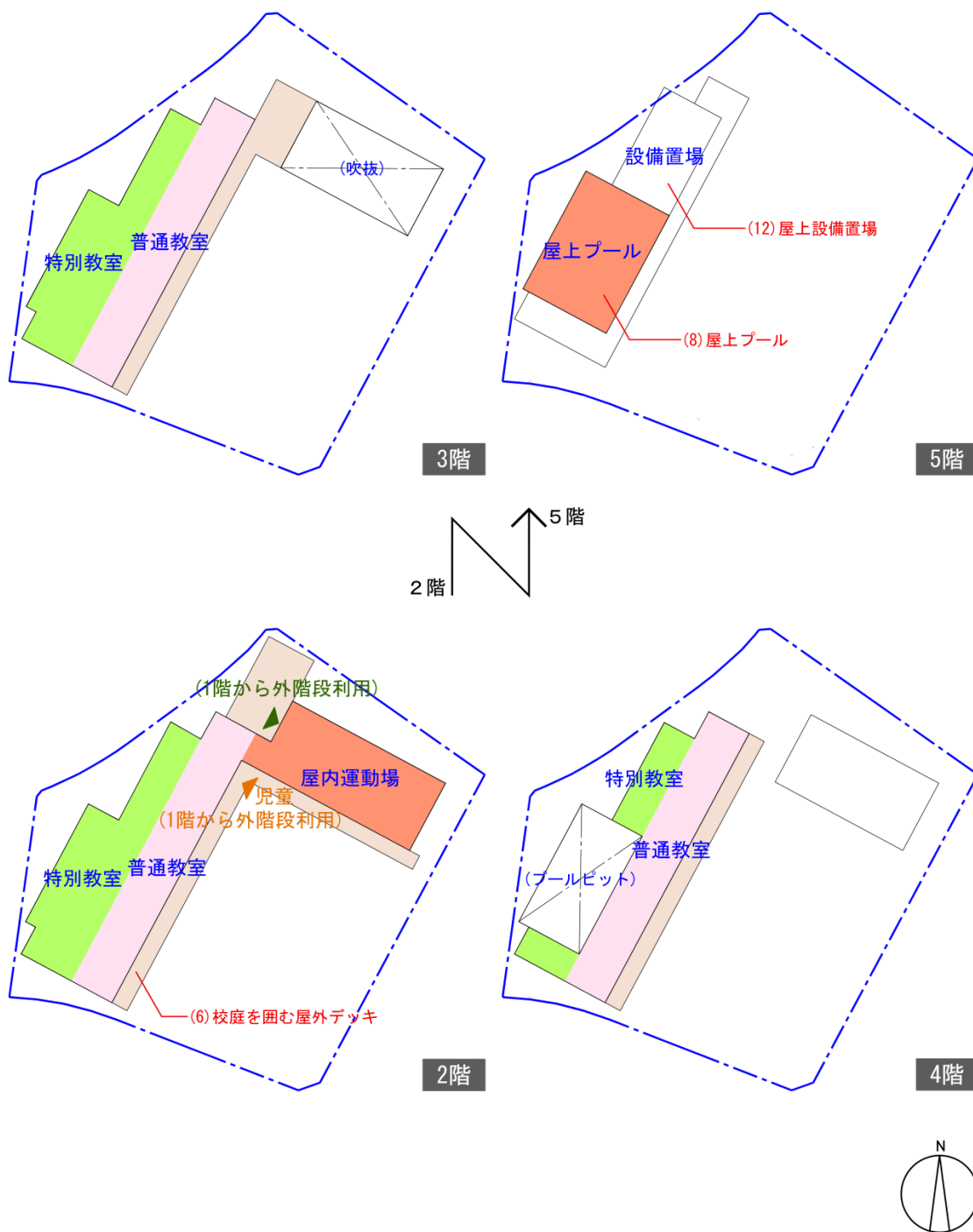
- ・地域開放施設を北側に置くことで、セキュリティ管理が必要なエリアをコンパクトに集約できる。
- ・日照が確保された、整形の校庭を確保できる。
- ・全ての普通教室、特別支援学級が校庭に面した東向きに配置できることから、採光を確保できる。

【デメリット】

- ・校舎を西～北東側に寄せているので、一部分において日影規制を受ける建物形状となる。



3-2 建物配置 イメージ①



4-1 建物配置 イメージ②



■建物配置特徴 ※前回（第3回統合委員会資料）記載に同じ

【校舎・校庭】

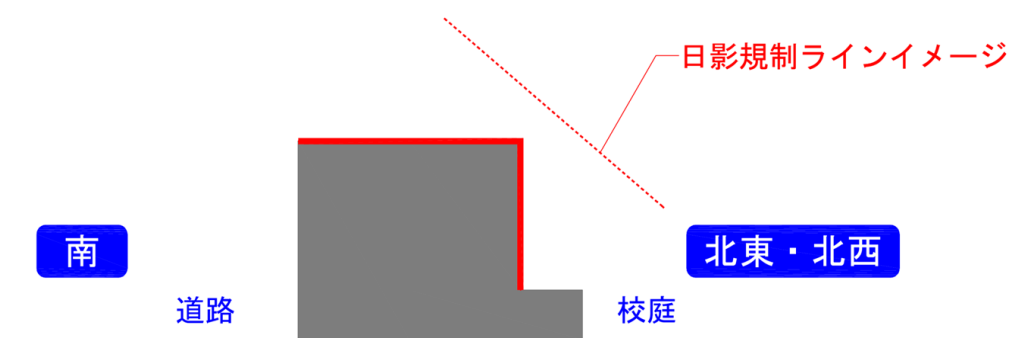
- ・南側に校舎を配置。（普通教室を南向きに配置。）
- ・北側に校庭を配置。（現在の新井小学校と同等規模以上を確保。）

【地域開放施設（キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館、屋内運動場）】

- ・中野通りに面して配置。

【メリット】

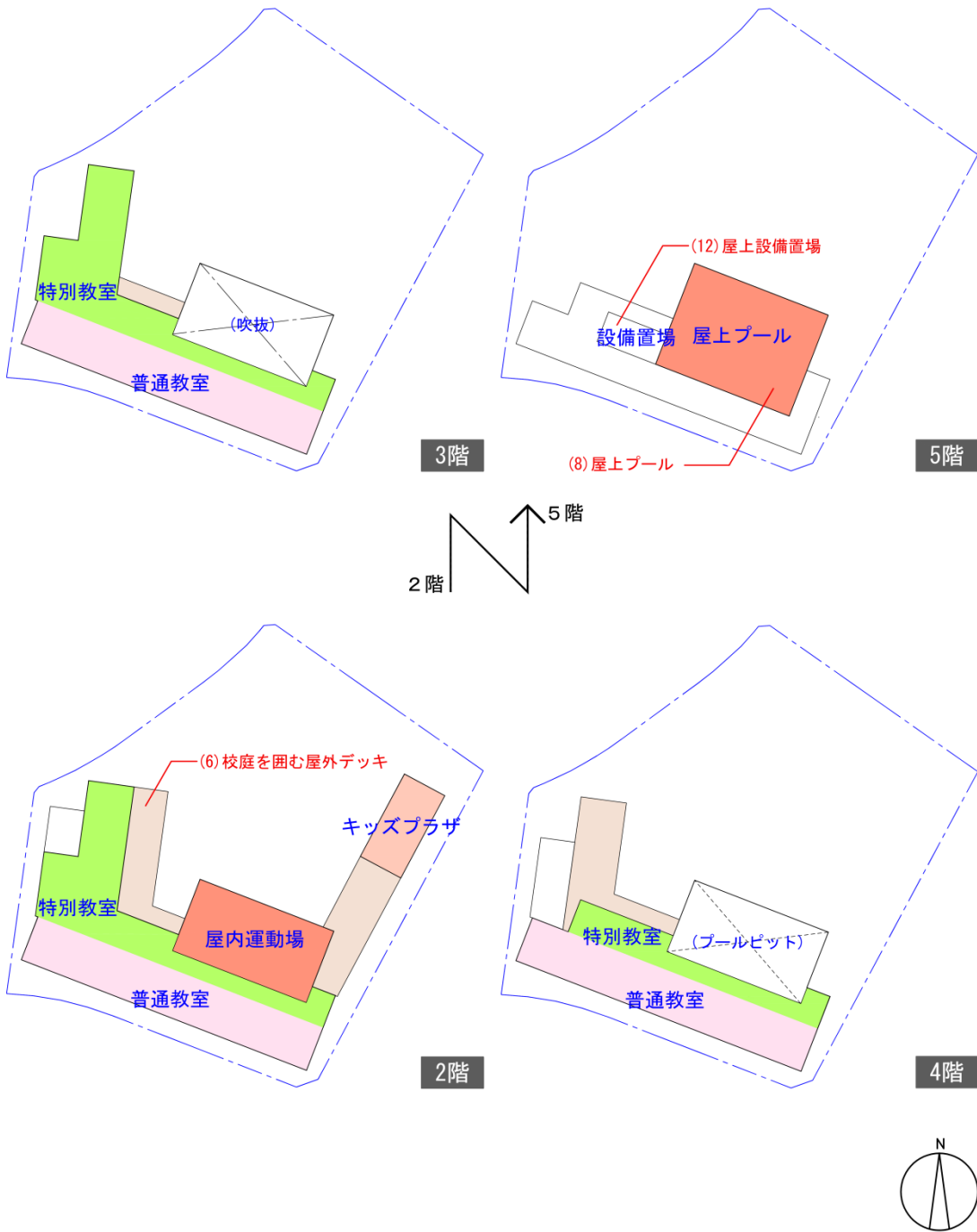
- ・イメージ①に比べて日影規制の影響を受けにくい。



【デメリット】

- ・校庭への日照確保の為、中野通り沿いは低層化を図る必要がある。
- ・中野通り沿いに児童、地域開放の入り口が集中していることから、利用者動線が交錯する。
- ・全ての普通教室を南向きに配置できるが、校庭に面することができず、教育環境として課題がある。

4-2 建物配置 イメージ②



事務局

今、施設計画について説明したが、統合委員会は、この二案のどちらかを選ぶというスタンスではなく、新校をこういう施設にしてほしいという意見を取りまとめて教育委員会に報告する。教育委員会はその意見も踏まえて、1月に統合新校の新校舎の基本構想・基本計画の案を取りまとめる。2月には、その計画案について区民との意見交換会を実施し、その内容を次回の第5回統合委員会で報告する。最終的には、3月に上高田小学校・新井小学校統合新校校舎等整備の基本構想・基本計画を策定する予定である。

委員長

施設計画と今後の流れについて、説明していただいた。本日は校舎の改築に関する意見を取りまとめるので、その意見案についても事務局より説明を求める。

■資料「統合新校校舎の改築に関する意見について（案）」を事務局より説明

（概要）

中野区教育委員会が策定する上高田小学校・新井小学校統合新校の新校舎改築について、以下のとおり意見を取りまとめたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告いたします。

- ・ 統合後の児童数に見合う広さの校庭を確保した設計にしていきたいと考えます。
- ・ 校門・校舎の位置については、児童の登下校時の安全確保のために、近隣道路の交通量や児童の混雑等、考え得る危険要因について十分に検討していただきたいと考えます。
- ・ 防犯に十分配慮した施設設計にしていきたいと考えます。
- ・ 学校は災害時の地域の避難所機能を担うため、水害も含めた災害対策を考慮した設計にしていきたいと考えます。
- ・ キッズ・プラザや地域開放型学校図書館の設置にあたっては、学校関係者以外の動線に十分配慮した配置にするとともに、セキュリティ対策を講じ、学校運営に支障をきたさないようにしていきたいと考えます。
- ・ 一足製のメリットを活かした設計にしていきたいと考えます。
- ・ 両学校の伝統を活かした施設づくりをしていただきたいと考えます。
- ・ 教室の配置など具体的検討をするにあたっては、学校と十分協議し進めていただきたいと考えます。

委員長

今までの説明について、意見・質問等あるか。また、新校に対して、期待を込めた前向きな意見があれば、意見案に加えたい。

委員

イメージ②の屋外デッキの位置では、校庭をあまり見渡せないのではないか。キッズ・プラザの上にもデッキを設置できないのか。

東畑建築事務所

キッズ・プラザの屋上利用は可能かと思うので、検討する。

委員

中野通りの喧騒から離して校舎を配置する方が良いので、①の校舎配置が良いのではないか。また、武蔵野は、昔から空っ風が吹き付けることで有名である。校舎を北西側に配置して、校庭に吹く空っ風を遮断して、子どもたちが冬でも校庭を利用できる環境にするべきだと思う。

また、付属施設のセキュリティ等について重点的に議論しているが、小学校本来の機能を第一義と考えて議論するべきだと思う。

委員

新校にも、上高田小学校のヒマラヤスギのように、シンボルとなるものが何かあれば良いと思

う。

委員

デッキというのは、どういうものを想定しているのか。

東畑建築事務所

例えば、中野駅から区役所に向かう途中に、バスターミナルを望む歩行者用通路のデッキがある。このような、上から校庭を見下ろす手すり付きのスペースを想定している。また、デッキは教室から出入りできる構造で検討している。

委員

手すりは、小さい子どもが乗り上げてしまう危険性はないのか。

東畑建築事務所

大変重要な点なので、安全性には十分配慮していくつもりである。

委員長

手すりの高さだけではなく、隙間にも配慮して設計してもらいたいと思う。

委員

イメージ②の屋外デッキが二つに分断されているが、使い勝手が悪いのではないか。また、確認だが、地域開放型学校図書館は、一般の人が入る場所ということか。すると、子どもが利用するキッズ・プラザと学校の間に配置すると危ないので、地域開放型学校図書館とキッズ・プラザの配置を逆にした方が良いのではないか。

事務局

地域開放型学校図書館は、学校図書館との一体的な利用も想定して計画している。授業がある日は児童も利用し、土日等の休校日には、学校図書館も一般向けに開放する。地域開放型と言っても、地域の人だけが使うものではなく、児童も普段から利用する図書館を想定している。

委員

正門が交差点の信号を渡ってすぐの位置にあるが、左折車に巻き込まれる危険性があり、危ないのではないか。

東畑建築事務所

図では分かりやすいように一番角に門を表示しているが、実際は、他のキッズ・プラザの入り口と同様に、道路境界から後退した所に設置する予定である。

委員

学校開放についてだが、今の新井小学校の体育館は人気が高く、夜間に使用する団体が多い。配置等の関係もあり、使用時の騒音に対して、近隣からの苦情がないからである。しかし、例えば桃園小学校等の他校では、近隣住民からの苦情が多く、子どもたちが自由に使いづらいという問題を抱えている。両案とも、子どもたちが伸びやかに使えるように、配置の仕方も含めて、十分な防音対策を講じてほしい。

また、夕方以降は暗いので、照明を設置できないだろうか。

東畑建築事務所

まず防音対策についてだが、弊社は様々な学校の設計を担当したが、住宅街の中に建つ学校もあった。その場合、体育館の一方を壁にして、明るさを確保するために天窗を付けたり、風通しに配慮したり等、工夫をしてきた。細部の設計段階で出来る限り配慮したい。

次に、照明については、照明ポールを立てなくても、校舎の上部に照明器具を設置することで簡便に校庭を照らすという方法もあるので、設置の可否も含めて、教育委員会と協議しながら検討する。

委員

ヒートアイランド現象への対策と光熱費の節約も兼ねて、屋上緑化を検討してもらえないか。また、屋上プールにする場合は、目隠しを設けてほしい。

また、質問だが、前回の統合委員会で、イメージ①は日影規制の問題があるという説明があった。本日の資料を見ると、日影規制を考慮しても同じ5階建てにできそうである。そうであれば、

整形の校庭を取れるイメージ①の方が良いのではないか。

東畑建築事務所

屋上緑化については、校庭が狭い学校は、屋上に児童の菜園を設けている所もあるし、そもそも都の条例で敷地内に一定程度の緑化は必要である。本校の場合は、水害対策のために、機械設備を屋上に設けるという話なので、機械設備を置いて空いたスペース内で検討したい。

プールについては、屋上に設置し、さらに周りにフェンスや折り返しの庇を付けて、近隣から児童の姿が見えないように配慮したい。

日影規制については、北側が段々になる設計だが、法的に問題は無い。しかし、小学校において、職員室等、1階への配置が望ましい諸室があり、それらを考慮した結果、両案とも、校舎内の諸室の設置階はあまり変わらず5階建てになる。イメージ①は、その条件下で、日影規制に抵触しないように出来るだけの工夫をして5階建てにしていると考えていただきたい。

委員

前回の統合委員会で、校庭は人工芝にするという話があったが、数十年したら貼り替えが必要になると思う。自分の職場でも、グラウンドを人工芝に貼り替えたが、全面閉鎖して工事が行われた。数十年後に本校もそういう状況になったときに、校庭が全く使えなくなると、教育上問題が出てくると思う。学校を建築する段階も重要だと思うが、数十年後の施設維持のための改修がスムーズにできるように、長期的な視点で設計をしてほしい。

委員長

今後の維持管理を踏まえた設計というのは、人工芝だけではなく、校舎全体を含む広い意味で捉えてほしい。

他に意見等あるか。それでは、今出た意見の中から、意見書に加える意見を、委員長・副委員長・事務局で取りまとめるので、少し時間を戴く。

—取りまとめ—

委員長

では、意見書に加える意見案を事務局より発表する。

事務局

4つ考えている。1つ目は、「児童がのびのびと学習や運動ができる施設にしていっていただきたいと考えます」。2つ目は、「人工芝のメンテナンス等、今後の維持管理を考慮した施設設計をしていただきたいと考えます」。3つ目は、「将来的な西武線地下化による線路跡地の活用を考慮に入れた施設計画にしていっていただきたいと考えます」。4つ目は、シンボルについてだが、簡条書きの下から2番目の「両校の伝統を活かした施設づくりをしていただきたいと考えます」に組み込ませる。

委員長

この他に何かあるか。

—特に意見無し—

委員長

それでは、事務局には、この案を基にして、統合委員会の統合新校の改築に関する意見として文書を作成してほしい。最終的な意見書は、委員長と副委員長と、両学校の校長で調整することで宜しいか。

—異議なし—

議事(2) その他

委員長

予定していた議題は以上だが、他に何か発言はあるか。

委員

建物イメージが、今は平面図で示されているので、立体的な図面等も提示してもらえると分かりやすい。

事務局

基本設計の検討段階に入れば、基本構想よりも具体的でイメージしやすい図案を提示できる。

委員長

他に何かあるか。なければ、ここで副委員長より新年会について提案がある。

副委員長

第2回の統合委員会の終了後に懇親会を開いたが、打ち解けた雰囲気の中で色々な話ができて有意義な時間になったと思う。今後も統合委員会でますます深い議論をする場面があるかと思うので、新年会として、再び懇親会を開催したいと思う。

—異議なし—

委員長

それでは、次回の統合委員会の開催日も含めて日程調整をする。

—日程調整—

委員長

では、新年会は1月19日の18時30分から中野駅の周辺で開催する。詳細が決まり次第、事務局より連絡する。

次回の統合委員会は、2月26日の月曜日、18時30分から上高田小学校のランチルームで開催する。本日の統合委員会はこれをもって終了する。